工業つ子

No. 108
—発行日—
2014. 12. 24
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

みんなで創り上げた 文化祭 大勢の人でにぎわう

十二月六日(土)に開催された文化祭。一日だけの実施でしたが、多くの方が訪れ、賑わいました。この文化祭を盛り上げた各部活動や各クラスの人たちにインタビュー。文化祭での手応えを聞いてみました。

ステージ発表

●吹奏楽部—演奏披露
一体感があって、三年間で一番楽しくできた。

●放送部—自作映像上映
笑ってくれて良かった。

●E1—ギネスに挑戦
とりあえず、ギネス記録達成めざし頑張った。

●I2—Iステ
Eガールズで可愛さ、男子で面白さ、最後の妖怪氣志團でかっこよさ、男子で面白さ、最後の妖怪ウォッチで団結を表した。

●I3—よさこい踊り
体育祭と少し印象を変えた演出で、観客の期待に応えられたと思う。

▲帰ってきたあの感動！I3

展示・バザー等

展示部門の最優秀賞はE2！

◎E2—光の王国
展示物の不調もあり、心配だったが、たくさん人が来てくれた。楽しんでくれて良かった。

▶会場は大盛り上がり！

それぞれにインタビュー

～文化部編～

◎デザイン研究部—木工
木工小物が大好評！

◎科学部—体験型展示
紙コップロケットが人気だった。

◎美術部—作品展示等
例年同様ボトルアート体験が人気だった！

◎茶道部—お茶会
お茶もお菓子も食べて、楽しそうにしていた。

◎新聞部—展示など
去年より多くの人が訪れました。

◎JRC同好会—展示
説明をしたら、わかりやすいと喜んでもらえて、好評だった。

◎囲碁・将棋部—対戦
来てくれた人が楽しんでくれていた。

◎電気通信部—展示
UFOキャッチャーが人気だった。

▼大人気！悲鳴が絶えない P3お化け屋敷

◎写真部—写真展
工夫が足りなかった。

◎建築研究部—展示
お客さんに、すごいと言ってもらい嬉しかった。

◎英語部—英語でDJ
上手く出来たと思う。文化祭を少しでも盛り上げられたなら幸いです。

～各クラス編～

◆M1—自作映画上映
作品に全員が参加した。お客さんに好評だった。

◆P1—制作物展示
『考えるモアイ』の評判がわりと良かった。

◆C1—石鹸の販売
大人から子どもまで人気があった。思っていたより売れたので驚いた。

◆A1—自作映像上映
良い感じ。

◆I1—たこ焼き
完売してよかった。

◆D1—射的
お客さんが楽しそうにしていて良かった。

◆J1—スタンプラリー
ポイントを全て回って来てくれる人が思っていたより多く、嬉しかった。

◆M2—的抜きゲーム
たこ焼きが昼前になくなって予想以上だった。

◆P2—自作映像上映
みんな笑ってくれてとても有難かったです。

◆C2—心霊スタジオ
大好評！怖がってたけど、楽しんでもらえた。

◆A2—ポップコーン
かなり喜んでくれた。

◆D2—バルーンアート
たくさんのお客さんが喜んでくれてよかった。

◆J2—プロジェクトJ
人気があって上々。

◆M3—射的
楽しそうに笑ってた。

◆P3—おばけ屋敷
上々です。自己採点で一億五万点。

◆E3—占いの館
上々です。特に女子に。

◆C3—食品の販売等
リンゴあめが好評。

◆A3—クッキー
クッキーが人気で、販売早々売り切れました。

◆D3—おばけ屋敷
予想以上に怖がってくれてとてもうれしかった。

◆J3—わたがし
適度にいいにおいがして店に立ち寄ってくれた。

▲『考えるモアイ』これもまた愛嬌

▼礼儀と作法を学ぶ

今日の一枚 ～お披露目～

▼ ありがとうございました！

今回の一枚は、文化祭新聞部編。LL教室で一年間の新聞の展示、取材で撮影した各行事の写真のスライドショー、折り薔薇アート作品の展示を実施。最初は人が少なく、一人寂しく薔薇を折り続けるなんて時も。しかし昼すぎには多くの方が来場。とても嬉しかったです。帰り際には感謝の気持ちを込めて折り薔薇をプレゼント。来年は折り薔薇教室をするとかしないとか。毎号楽しみにしてくださる方たちのためにも頑張らなくてはと思った一日でした。（松尾）

命の大切さ

今年行われた行事や取材を通して学んだ「命の大切さ」について書こうと思います。

以前、新聞に載せた八木道子さんへの取材。八木道子さんは爆心地から三・三キロメートルの鳴滝町で被爆された方です。私にとって被爆者の方から一対一で、直接お話を伺うというのは初めてで、とても良い経験になりました。特に印象に残ったのは、皆十一時二分まで生きていたのに皆の夢や希望が一発の原子爆弾によって一瞬にして奪われ、皆に十一時三分がくることはなく時が止まってしまったという言葉です。

話は変わりますが、九月には聖フランシスコ病院の益冨美津代先生が講師として来校され、ホスピスのお話がありました。皆さんは覚えていましたか。ホスピスとは一般病棟とは違い、最期をその人らしく生活ができるところです。ホスピスで最期を迎えられた方は可哀想だと思っていましたがそうではないことが分かりました。

そこから原爆で亡くなられた方も同じではないかと思いました。何の罪も無い人の夢が一瞬にして奪われるようなことはあってはならないことです。が、夢を持って生きてきた人の人生は、その最期が悲しい終わり方であっても悪かったとはいうことにはならないと思います。一方、夢や目標を持たない人生では前には進めず、ただ時間だけが刻々と過ぎるだけです。

生きたくても生きられない方はたくさんいます。私たちにもいつ何が起こるのか予測できません。いろいろな経験を通して、改めて命の大切さが分かりました。「一番不幸なことは自分がこの世で必要とされていないことである」。今自分がすべきことは何かを考え、目標を持って前に進み、誰かに必要とされるような生き方をしていきたいと思います。（平松）

「学級壁新聞」力作揃って 2クラス1位に

今年で二回目となる学級新聞コンテスト。今回一位に輝いたのはI3とA3の二クラスでした。I3とA3の新聞制作班にインタビュー。

▶I3「愛情通信」

▶A3「A3新聞」

《I3》

優勝目指して頑張ってきたので、とても嬉しいです。みんなで頑張ったから二年連続とれた。昨年の新聞を超えるような、新聞をつくれたと思う。

《A3》

優勝できて嬉しいです。みんなのおかげで優勝することができました。一番見てほしいのは新聞の大見出し夫したのは新聞の大見出しに、鉋で削った木をかんなで削って、塗装まで。四コマや大見出しなど工夫したところはたくさんあるけれど、一番見てほしいのは新聞の名前のところです。メープルの木を使ったところです。昨年以上に各クラス特徴ある新聞でした。

青春日記

期末テストが終了後、いつものように始まった新聞部。しかしそこにはただ一人、奴の姿だけがない。不審に思っていると部員たちに、先生が静かに告げた。「山田、しばらく勉強で部活来れないって」—うん。テスト残念だったね、山田。今回、青春日記担当の山田は、泣く泣くお休みです。

さて、今月から車校に通い始めた三年生は多いはず。かくいう私もその一人。車校には様々な高校の生徒が来ています。各学校で制服も違えば雰囲気も違う。久々に女子子にきゃぴきゃぴとした様どこからあんな可愛らしい声出すんだっけ？私の声帯ではもう…。そして男子ばかりでも長工生からは妙な安心感が。いつの間にか私も、長工の色に染まってしまったんだなぁ。

さて、いよいよ初めての実車。うきうき浮かれていた気持ちはどこへやら、緊張しまくり焦りまくり。ちょっと待ってと言ってもAT車はどんどん進んでいきます。アクセルは思っていたよりも踏むのに力がいらず、軽く踏んでもスピードが。「もっと肩の力を抜いてね～」と先生に言われてさらに強まる手の力。しまいには右が左で左が右で「あれ？右ってどっちに回せばいい？」とカーブでい混乱してしまう始末。初回だけで三度溝に落ちてしまいました。もともと怖がりな性格の私。そんな私が車を運転するだなんて。「あんたの運転する車には絶対乗りたくないわ」と友達に言われましたが、その子を乗せてグリーンランドに行けるように頑張ります。（大崎）

高校生ものづくりコンテスト全国大会

自動車整備部門

あきらめない心で二位に輝く！

高校生ものづくりコンテスト全国大会が十一月十六日、東北地方で開催され、本校の糸瀬燿孝君（M3）が出場しました。会場は山形県の山形職業能力開発専門校。自動車整備部門に出場し見事二位に輝きました。

九州から遠い山形。大会を終えて少しほっとした糸瀬君にインタビューをしました。

Q会場の雰囲気はどうでしたか。

A静かだった。

―やはり全国大会の会場というのはどこも緊張感があるようです。

Q大会前の心境はいかがでしたか。

A三年間やってきたことをやりきりたいと思っていました。

―しかし大会本番では大きなプレッシャーで、スタートしてすぐにミスをしてしまったとのこと。

Qその時の心境は…。

A「やってしまった」それでもミスを取り返すよう頑張りました。

Q大会を終えて感じたことをお願いします。

A仲間の大切さ、努力し続ける事の重要さです。

Q後輩に一言！

A来年こそものづくりコンテスト全国大会で優勝をしてほしい。

―優勝を惜しくも逃した糸瀬君。最後に一言お願いすると「今は支えて下さった全ての人に感謝しています」とのこと。三年間本当におつかれさまでした。

▶エンジン故障チェック！全国大会出場メンバーと▶

▼気さくな糸瀬くん

技能祭

道行く人に長工の技をPR

11月16日、浜の町ベルナード観光通りで開催された長崎県技能祭。企業の方に交じって長工からもロボット研究部とP科の新幹線列車が参加しました。

▲大人気！！新幹線列車

体験型ロボットで楽しもう！

―ロボット研究部

小さい子供から大人まで楽しめるような展示。ロボット研究部は缶詰をロボットのアームを使って棚の上まで乗せるものやロボットをカーブ状に並べた缶詰にぶつけないようにするものなどさまざまな体験コーナーがありました。他にもオリジナルのマスコットキャラであるCHOKO君が会場を盛り上げていました。

ミニミニ新幹線

―P科代表生徒

P科の列車は子ども連れの親御さんに人気。P科の生徒が子供達を乗せて運転。乗っている子どもも見ている親御さんも楽しそうでした。

・立ち寄ってくれた人にインタビュー。

ロボ研の展示では保護者の方から「楽しそうでいい」「子ども達を見ると楽しそうだったので良い経験になったと思う」などと好評価。子どもからは、「楽しかった」の声がたくさん。

新幹線列車の方では保護者の方からは「子どもも喜んでいて、今日のように地域と関わり合うことは地域活性化の意味では良いと思う」「楽しませてもらった。もっとこんな催しを行ってもらいたい」とのお話が、子どもからは「はやくて面白かった。将来自分もこういうものを作っていきたい」「自分は動いていないのに前に進むところがとても面白かった」との声が返ってきました。好評の内におわったイベントでした。

▲ 子どもも大喜び

科学の祭典

つぶやき…！に

十一月十五日と十六日に長崎市科学館にて行われた「科学の祭典」。長工から科学部とC2の生徒、定時制の生徒が参加しました。会場には多くの子供たちが来ていて、実験や工作が進んでいく度に「わー」や「すげー」などの声があがっていました。参加した、科学部の生徒に話を聞くと「普段接しない人たちとふれあうことができた。子どもたちが喜んでくれて嬉しい」と答えてくれました。「イベントに来ていた親子にインタビューを行うと「学校の工作じゃ学べないような体験を子どもにさせることができて良かった」とお母さん。

女の子も「楽しい！」と一言。生徒の引率でいらしていた門崎先生にお話を伺うと「外のイベントに参加することで、社会貢献や、生徒たちのコミュニケーション能力の向上のための体験をすることができる。参加した子どもたちも科学の面白さを感じてくれたようでとても嬉しい」と話してくださいました。

子供たちが工作で作った物を大事そうに持っている姿がとても微笑ましく、今後もこのようなイベントに積極的に参加して、地域の子供たちを笑顔にしていけると良いなと思いました。

▼簡単！ECOバック教室

新シリーズ ロボコン道①

始めまして！

J科一年の私、草場はロボット研究部ロボット班（以下ロボ研）兼新聞部員をやっています。

先日、ロボ研は『技能まつり』にロボット操作体験&段ボールで製作したロボット着ぐるみで参加。本物のロボットは先輩方が作り、私たち一年生は、着ぐるみ担当。当日は着ぐるみの中に入って長工をPR。初めは緊張しましたが、昼過ぎには観光通りの端から端まで動き回りました。

ロボ研は今どちらかというとシーズンオフ。春からの本格活動に向けて今は整理整頓しています。

一体いつ終わるのやら…。

次回は今年のロボットコンテストについて！

▶着ぐるみCHOKO君

田中先生（体育科）インタビュー

「これ以上話すと泣いちまいそうだぜ…」

長崎国体が終わり、今年の四月から十月までの間、保健体育、そして柔道部の指導してくださった田中大地先生が離任されました。田中先生へのインタビューです。

Q一番印象に残っていることは何ですか。

―体育祭。全員で盛り上がることが出来て、タフネスが育っていると感じた。今まで観た体育祭で一番素晴らしかった。

Q好きな場所は。

―体育教官室。尊敬する先輩方と生徒の事を真剣に話すことが出来て勉強になったから。

Qこれからの夢

―まず力をつけ教員採用試験に合格。体育教師になり、柔道部の監督を務め、最強のチームを作る。

Q今一番したいことは何ですか。

―柔道部の監督。

Q長工での日々はどうでしたか。

―みんな元気がよく、勢いのある学校だと思った。七ヵ月間とても楽しかった。

Q生徒に一言

―「直心これ道場」素直な気持ちで常に自分を磨き頑張ってください。

▲みんなの人気者！

一年生な日々

本格的に冷え始めてきた最近。もういくつ寝るとお正月ですね。今月の一大イベントといえば文化祭。その前日、遅くまで部活をしていたのですが、廊下から見えた各教室の様々な飾り付け。まるで夜を飾るネオンのようで、目を奪われました。なにより中学校とは異なるこの雰囲気には心が躍りました。

それに、冬と言えばクリスマス。なにより待ち遠しいのはサンタさんからのプレゼントはそれだけではないということです。それは優しい優しい先生方からの、課題と言う名の学力の為と考えると嬉しい限りですね。

ところで、高総体あたりがピークと言われた新聞部の活動。そんな言葉とは裏腹に、段々忙しさを増していく。なのではないでしょうか…。勉強も段々難しくなってこれからが不安になって行く日々です。しかし、高校生活はまだ始まったばかりです。そんなことは言っておりません。皆さん、お正月は、どのように過ごすのでしょうか。お雑煮やおせちも待ち遠しいですね。それでは皆さん、良いお年をお迎えください。

（溝上）

気合だ！ こふち生!!!

～文化祭のハプニング～

良くも悪くも思い出の一つ。

編集後記

文化祭も終わり一段落だと思っていましたが、新聞部に一旦休憩の四字熟語はなかったようです。

さて、今年もあと少し。年の変わり目には豪華なお駄走と大金の詰まったお年玉袋が並びます。それぞれ皆さん、良いお年を。

（溝上）